



▲「ふらっと美山」店内に並ぶ加工品や新鮮野菜

◀有害鳥獣対策として設置された防除ネット

大野農産加工グループの『黄金芋』が受賞されましたが、都市交流を進める中でこれらの特産品も広げていきたいと考えています。担い手不足は深刻な問題ですが、付加価値の付くものを生産いただくためにも有害鳥獣の駆除をはじめ、行政でできることは地元と連携しながら取り組んでいきます。

※有害鳥獣捕獲については、これまで捕獲許可が市町村域に限られていたこともあり、市町村を越えて移動する個体の捕獲を断念するケースが多くありました。このため、平成21年度から広域捕獲隊を編成いただき、市町村境界をまたがった広域有害鳥獣捕獲、また鳥獣保護区での有害鳥獣捕獲を迅速かつ、効果的に実施し、鳥獣被害

直接的な被害のほか、耕作意欲がなくなるといふ精神的な被害についてもお話を聞いています。広域的な実情があることから、市としてもこの施策については、防除施設設置に係る資材費補助を府補助率50%に市補助率20%を上乗せし、平成20年度の獣害対策費は対前年度比約17%の増額をしました。また、市猟友会捕獲班による有害鳥獣捕獲についても努力いただいているところです。

**Q** ⑩ 有害鳥獣の被害が多く、フェンスの設置など獣害対策の要望を上げているが、一方で駆除しても地域の中で行ったり来たりしている状況であり抜本的な対策ができないものか。(氷室の郷)



▲京阪京都交通の快速バス「美山ネイチャー号」

**A** ⑪ 京阪京都交通に9〜11月の土・日・祝日のみ試行運転をしていただきました。このシーズン中に4,000人近くの乗車があり、来春にも再開

**Q** ⑫ 桂駅から美山ネイチャー号が運行されているが、多い時は1台に付き30人乗車で、一日に3台入ってくることもある。3時間余りの滞在時間がある中で、地元を観光してもらうためマイクロバスの配車をするにはできないか。(美山知井会館)

の深刻化・広域化に対応できるような体制整備も図っています。

**A** ⑬ 防災行政無線は、災害などに必要な情報をお知らせするためのシステムとして、合併前に日吉町で整備していましたが、合併後は八木町、美山町で順次整備しており、将来は市内全域で整備の予定をしています。整備に当たっては、設備の有効活用が図られるように各集落などに放送設備を設置していますので、集落内の連絡などにも活用していただくことができます。現在は、緊急地震速報を防災行政無線に接続するための整備を進めており、今後さらなる有効活用が図れるように検討していきます。

**Q** ⑭ 防災行政無線は市内全域に設置されているのか。機器を設置したメリット・デメリットが分からない。電気代だけが掛かっているのでは無駄ではないか。(美山知井会館)

してほしいと要望しているところです。観光客の対応については、美山町観光協会や美山町内の諸団体と連携する中で、さまざまな角度から知恵を絞り、成果が出るように取り組んでいきます。